

2015年4月25日(土) 13時～

チェルノブイリ・メモリアル・ディ

福島—チェルノブイリ 被ばくから子ども達を守る



「カノンだより」上映  
鎌仲監督とのトークセッション

1986年のチェルノブイリ原子力発電所の事故から29年経った。JCFは1991年ベラルーシのゴメリ州を訪問して以来、ゴメリ州立病院やベトカ地区病院への支援を続けている。

2011年3月11日の震災による福島原発事故によって、日本の私達も放射能の脅威にさらされている。

ヒバクシャをライフワークにするドキュメンタリー作家・鎌仲ひとみ監督の「小さき声のカノン」がいよいよ公開となる。チェルノブイリメモリアルディにあたり、この映画製作通信「カノンだより」上映の後、鎌仲監督を囲むトークセッションで、災禍の中で子ども達を守るためにすべきことを考えてみたい。

日時：4月25日(土) 13時～

場所：松本市中央公民館 (Mウィング) 6Fホール

内容：「カノンだより」上映

鎌仲監督とのトークセッション

資料代：500円

主催：日本チェルノブイリ連帯基金

お問い合わせ：0263-46-4218 Email [asama@jcf.ne.jp](mailto:asama@jcf.ne.jp)



日本チェルノブイリ連帯基金 (JCF)

〒390-0303

長野県松本市浅間温泉 2-12-12

TEL 0263-46-4218 FAX 0263-46-6229